

平成28年度
網走市における景気動向調査
＜第Ⅱ四半期＞

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

目 次

第1章	調査要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1-1.	調査時点及び調査対象期間	
1-2.	調査対象	
1-3.	調査方法	
1-4.	回収状況	
第2章	概況	
2-1.	全体の動き・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2-2.	業種別の動き・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
第3章	各判断項目回答割合	
3-1.	業況・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
3-2.	完成工事高・生産高・売上高・・・・・・・・	7
3-3.	在庫水準・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
3-4.	採算・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
3-5.	資金繰り・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
第4章	景況天気図	
4-1.	記号説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
4-2.	全業種D.I.値の状況・・・・・・・・・・	10
4-3.	業種別D.I.値の状況・・・・・・・・・・	11
第5章	産業別経営上の問題点・・・・・・・・・・	13
第6章	産業別設備投資の状況・・・・・・・・・・	14
第7章	業界の景気動向等その他のご意見・・・・・・・・	15

第1章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点：平成28年10月3日(月)～平成28年10月18日(火)
(2) 調査時点：平成28年7月～9月期実績、及び平成28年10月～12月期見通し

1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業(30件)、製造業(24件)、卸売業(21件)、小売業(41件)、サービス業(44件)、の5業種160社を調査対象とした。

1-3. 調査方法

調査対象に調査票を送付し、FAX、若しくは、返信用封筒による郵送で回答を受ける。

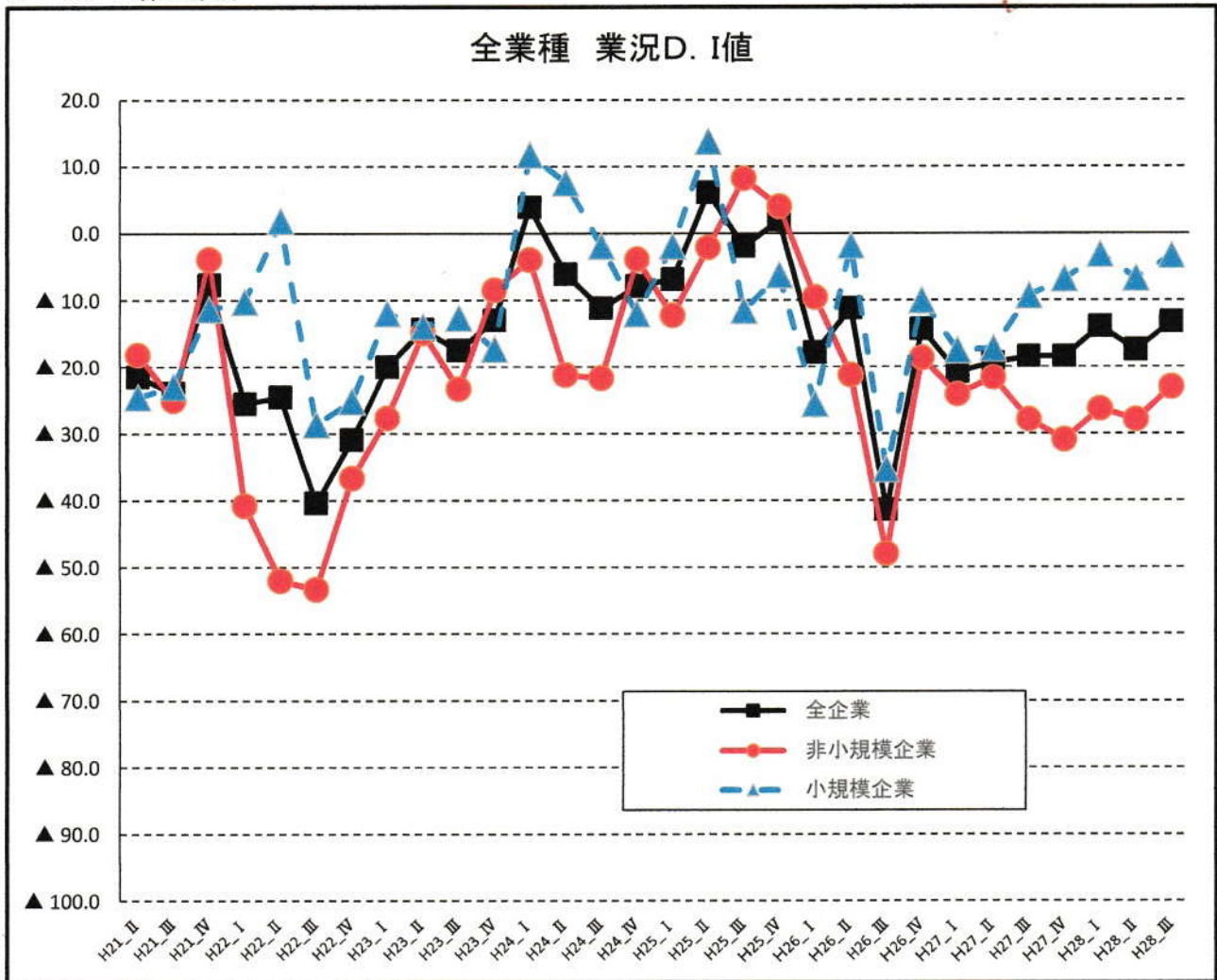
1-4. 回収状況

業種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
建設業	30件	21件 (非小規模企業:11件) (小規模企業:10件)	70.0%
製造業	24件	19件 (非小規模企業:8件) (小規模企業:11件)	79.2%
卸売業	21件	17件 (非小規模企業:9件) (小規模企業:8件)	81.0%
小売業	41件	28件 (非小規模企業:14件) (小規模企業:14件)	68.3%
サービス業	44件	36件 (非小規模企業:19件) (小規模企業:17件)	81.8%
合計	160件	121件	75.6%

注) 小規模企業とは、常時使用する従業員が20名以下(卸売業・小売業・サービス業は5人以下)を示している。

第2章 概況

2-1. 全体の動き



注) D.I.値とは、ディフュージョン・インデックスの略で、景気動向指数を示すものであり、好転の割合から悪化の割合を引いた値である。

平成28年度第Ⅱ四半期<7月～9月>の業況は、前年同期比で「好転企業」14.9%、「悪化企業」32.2%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は▲17.4と前期に比べ3.5ポイント悪化しました。規模別でみると、小規模企業のD.I.値は同3.7ポイント悪化し▲6.7、非小規模企業は1.6ポイント悪化し▲27.9となりました。全体としては、10期連続のマイナス水準で、網走市における景気停滞感は依然として続いており、厳しい状況のもとに置かれています。

とくに業種別でみた業況は、サービス業が11.8ポイント改善してプラマイゼロ、製造業は23.3ポイント改善され▲21.1となったものの、他の3業種では業況の悪化が見られます。特に建設業は前期の12.5から26.8ポイント大幅に悪化し▲14.3、卸売業は17.7ポイント悪化し▲35.3、小売業は11.4ポイント悪化し▲28.6となりました。

次期<10月～12月>の業況判断D.I.は4.2ポイント改善の▲13.2を予想しており、規模別でみると、小規模企業のD.I.値は▲3.3、非小規模企業は▲23.0となっており、若干の改善が予想されている。しかしながら、業種別では建設業▲4.8、製造業▲5.3、卸売業▲35.3、小売業▲14.3、サービス業▲11.1と全ての業種でマイナスとなっており、全体としても局面には変わりがないと言えます。

経営上の問題点としては、「人材不足」「得意先減少」「人件費増」「同業者間の競合」が上位を占めており、建設業とサービス業では前回に続き「人材不足」が問題の首位となっています。また、建設業のD.I.値は26.8ポイント落ち込みましたが、「諸経費増」が前回の5位から2位に上がっていることから、「売上の不振」「同業者間の競合」の問題と合わせてかなり深刻な状況と推察されます。

2-2. 業種別の動き

(1) 建設業

■完成工事高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	20.0 %	40.0 %	-20.0	↘
非小規模企業	0.0 %	36.4 %	-36.4	↘
全 体	9.5 %	38.1 %	-28.6	↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	10.0 %	30.0 %	-20.0	↘
非小規模企業	0.0 %	27.3 %	-27.3	↘
全 体	4.8 %	28.6 %	-23.8	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	30.0 %	30.0 %	0.0	→
	非小規模企業	0.0 %	9.1 %	-9.1	↘
	全 体	14.3 %	19.0 %	-4.7	↘
完成工事高	小規模企業	20.0 %	40.0 %	-20.0	↘
	非小規模企業	0.0 %	18.2 %	-18.2	↘
	全 体	9.5 %	28.6 %	-19.1	↘
資金繰り	小規模企業	10.0 %	20.0 %	-10.0	↘
	非小規模企業	0.0 %	0.0 %	0.0	→
	全 体	4.8 %	9.5 %	-4.7	↘

(2) 製造業

■生 産 高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	18.2 %	45.5 %	-27.3	↘
非小規模企業	12.5 %	62.5 %	-50.0	↘
全 体	15.8 %	52.6 %	-36.8	↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	9.1 %	45.5 %	-36.4	↘
非小規模企業	25.0 %	50.0 %	-25.0	↘
全 体	15.8 %	47.4 %	-31.6	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	18.2 %	36.4 %	-18.2	↘
	非小規模企業	25.0 %	12.5 %	12.5	↗
	全 体	21.1 %	26.3 %	-5.2	↘
生産高	小規模企業	18.2 %	36.4 %	-18.2	↘
	非小規模企業	12.5 %	25.0 %	-12.5	↘
	全 体	15.8 %	31.6 %	-15.8	↘
資金繰り	小規模企業	9.1 %	18.2 %	-9.1	↘
	非小規模企業	12.5 %	0.0 %	12.5	↗
	全 体	10.5 %	10.5 %	0.0	→

(3)卸売業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	37.5 %	37.5 %	0.0	→
非小規模企業	0.0 %	77.8 %	-77.8	↘
全 体	17.6 %	58.8 %	-41.2	↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	25.0 %	12.5 %	12.5	↗
非小規模企業	0.0 %	44.4 %	-44.4	↘
全 体	11.8 %	29.4 %	-17.6	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	25.0 %	25.0 %	0.0	→
	非小規模企業	0.0 %	66.7 %	-66.7	↘
	全 体	11.8 %	47.1 %	-35.3	↘
売上高	小規模企業	25.0 %	25.0 %	0.0	→
	非小規模企業	0.0 %	77.8 %	-77.8	↘
	全 体	11.8 %	52.9 %	-41.1	↘
資金繰り	小規模企業	0.0 %	28.6 %	-28.6	↘
	非小規模企業	0.0 %	22.2 %	-22.2	↘
	全 体	0.0 %	25.0 %	-25.0	↘

(4)小売業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	14.3 %	50 %	-35.7	↘
非小規模企業	7.1 %	42.9 %	-35.8	↘
全 体	10.7 %	46.4 %	-35.7	↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	7.1 %	42.9 %	-35.8	↘
非小規模企業	7.1 %	42.9 %	-35.8	↘
全 体	7.1 %	42.9 %	-35.8	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	21.4 %	21.4 %	0.0	→
	非小規模企業	14.3 %	42.9 %	-28.6	↘
	全 体	17.9 %	32.1 %	-14.2	↘
売上高	小規模企業	28.6 %	28.6 %	0.0	→
	非小規模企業	14.3 %	42.9 %	-28.6	↘
	全 体	21.4 %	35.7 %	-14.3	↘
資金繰り	小規模企業	7.1 %	21.4 %	-14.3	↘
	非小規模企業	0.0 %	28.6 %	-28.6	↘
	全 体	3.6 %	25.0 %	-21.4	↘

(5) サービス業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	29.4 %	17.6 %	11.8	↗
非小規模企業	26.3 %	52.6 %	-26.3	↘
全 体	27.8 %	36.1 %	-8.3	↘

■採 算

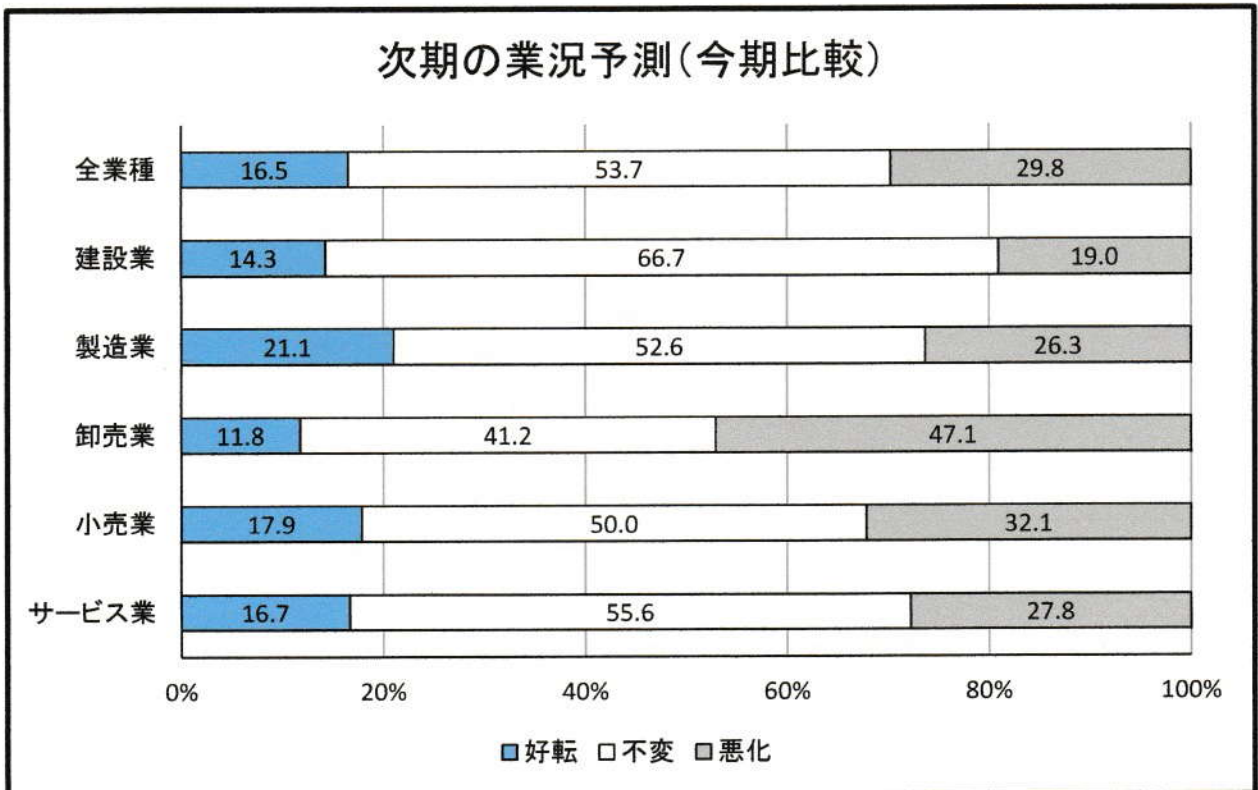
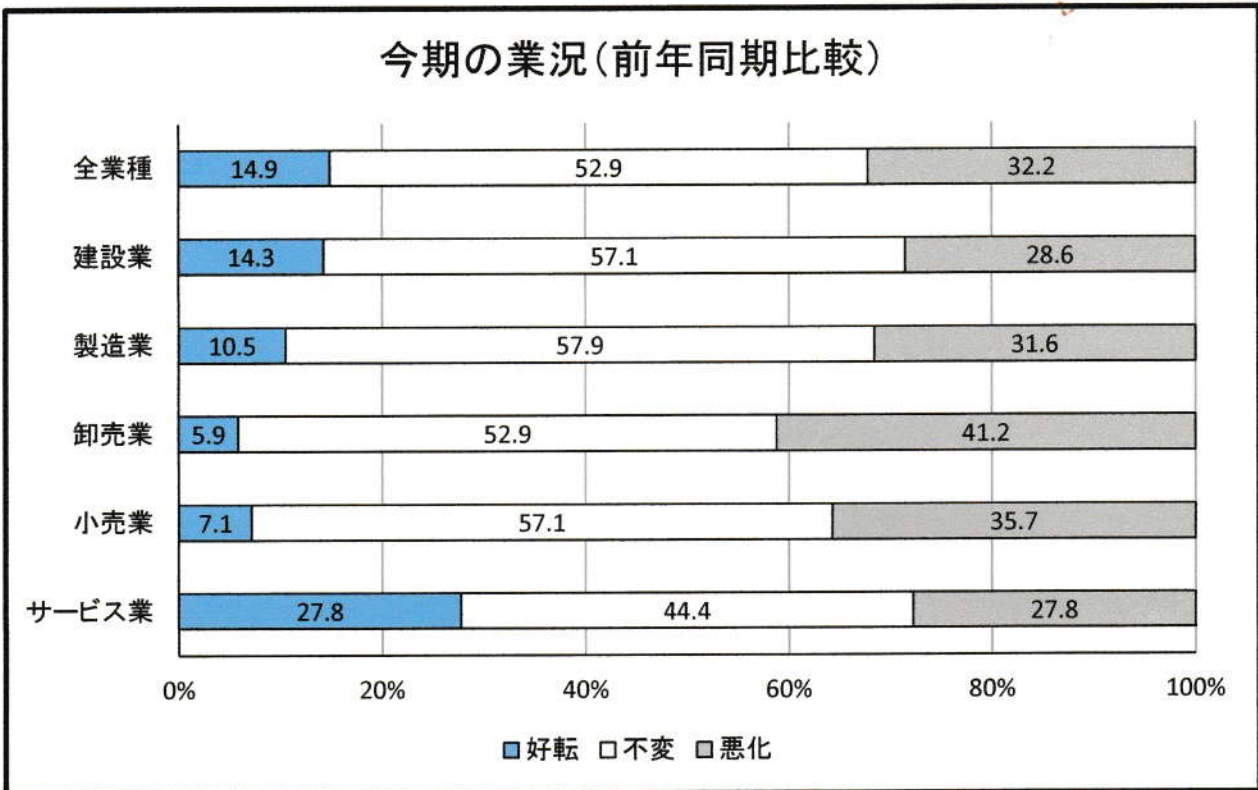
規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	17.6 %	5.9 %	11.7	↗
非小規模企業	21.1 %	36.8 %	-15.7	↘
全 体	19.4 %	22.2 %	-2.8	↘

■次期の見通し

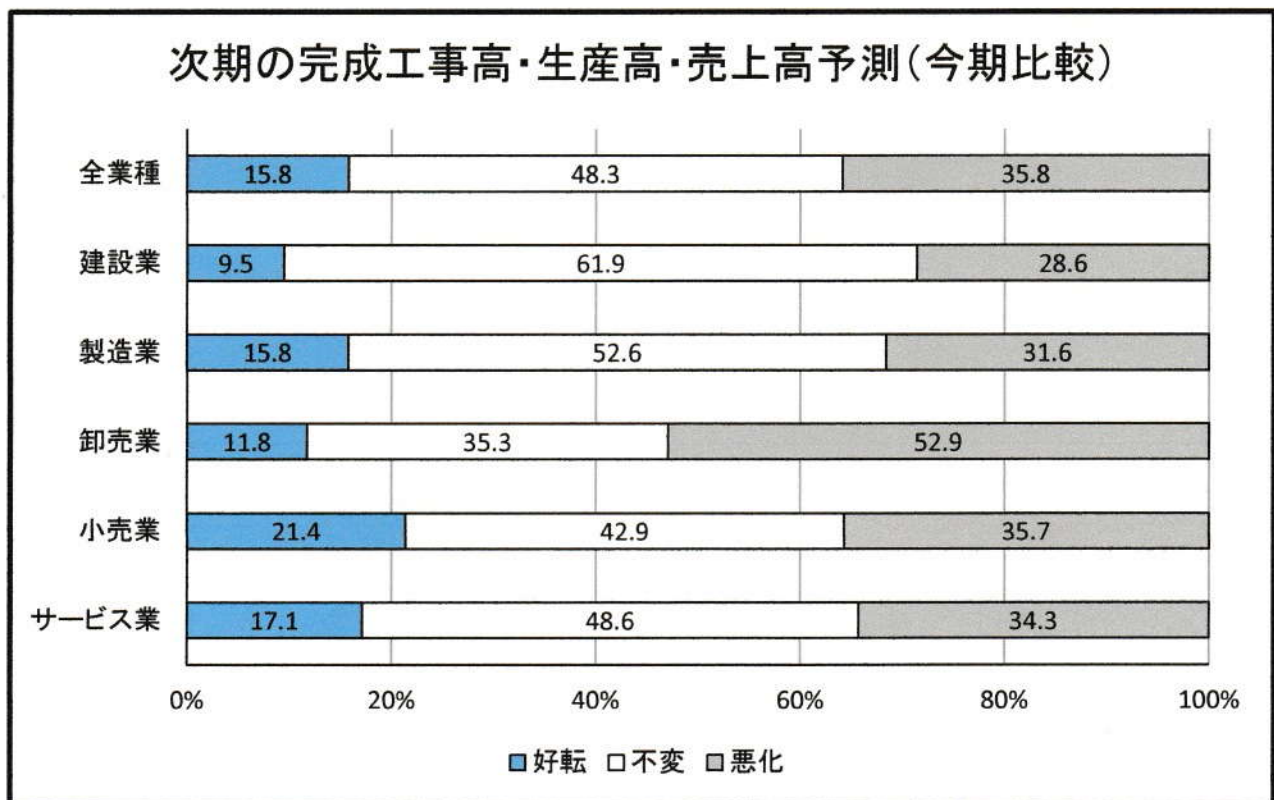
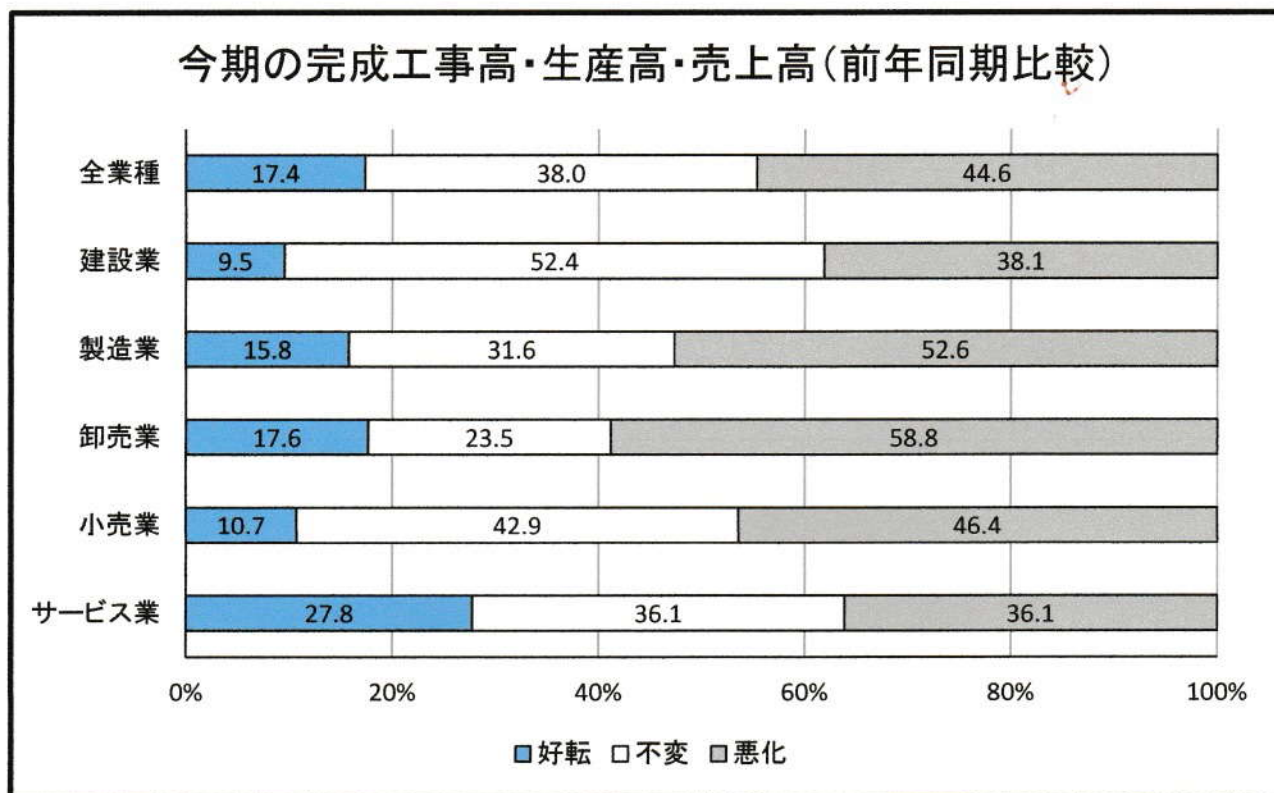
判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	17.6 %	17.6 %	0.0	→
	非小規模企業	15.8 %	36.8 %	-21.0	↘
	全 体	16.7 %	27.8 %	-11.1	↘
売上高	小規模企業	17.6 %	29.4 %	-11.8	↘
	非小規模企業	16.7 %	38.9 %	-22.2	↘
	全 体	17.6 %	34.3 %	-16.7	↘
資金繰り	小規模企業	5.9 %	11.8 %	-5.9	↘
	非小規模企業	15.8 %	21.1 %	-5.3	↘
	全 体	11.1 %	16.7 %	-5.6	↘

第3章 各判断項目回答割合

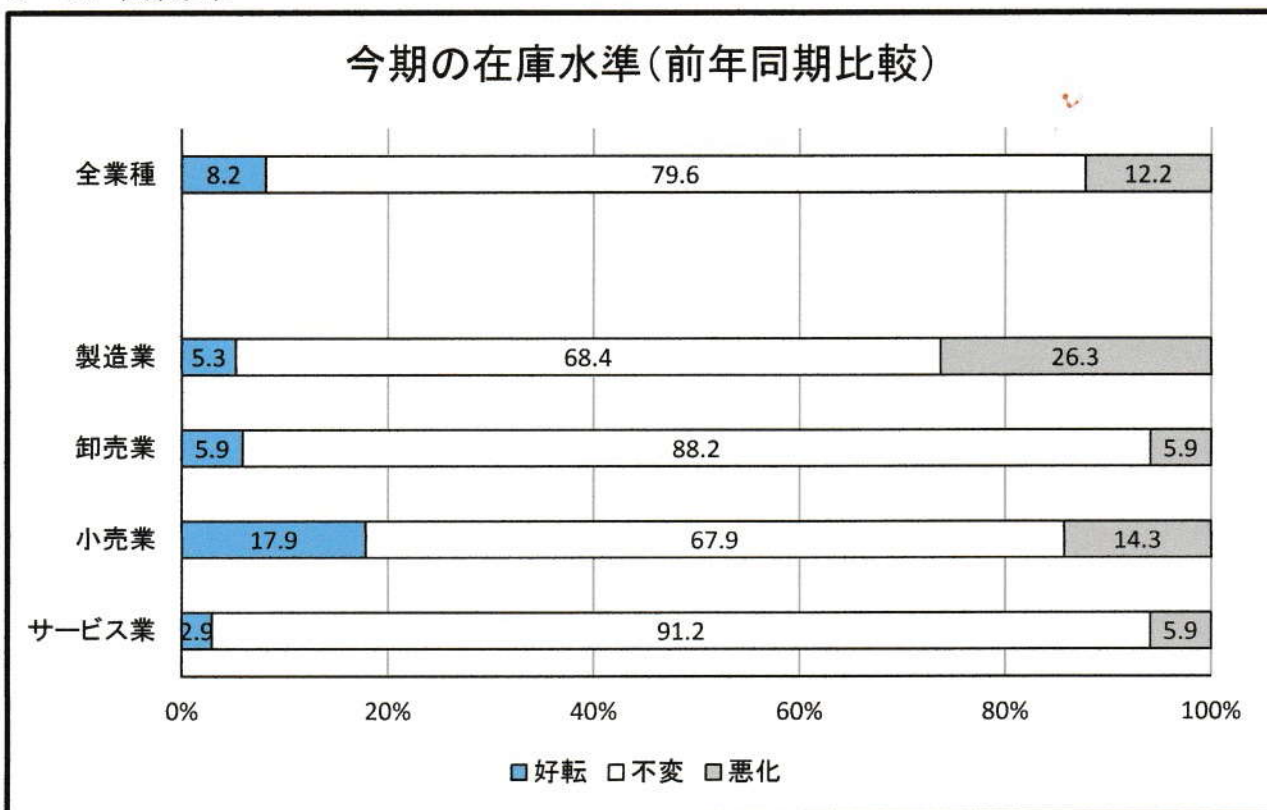
3-1. 業況



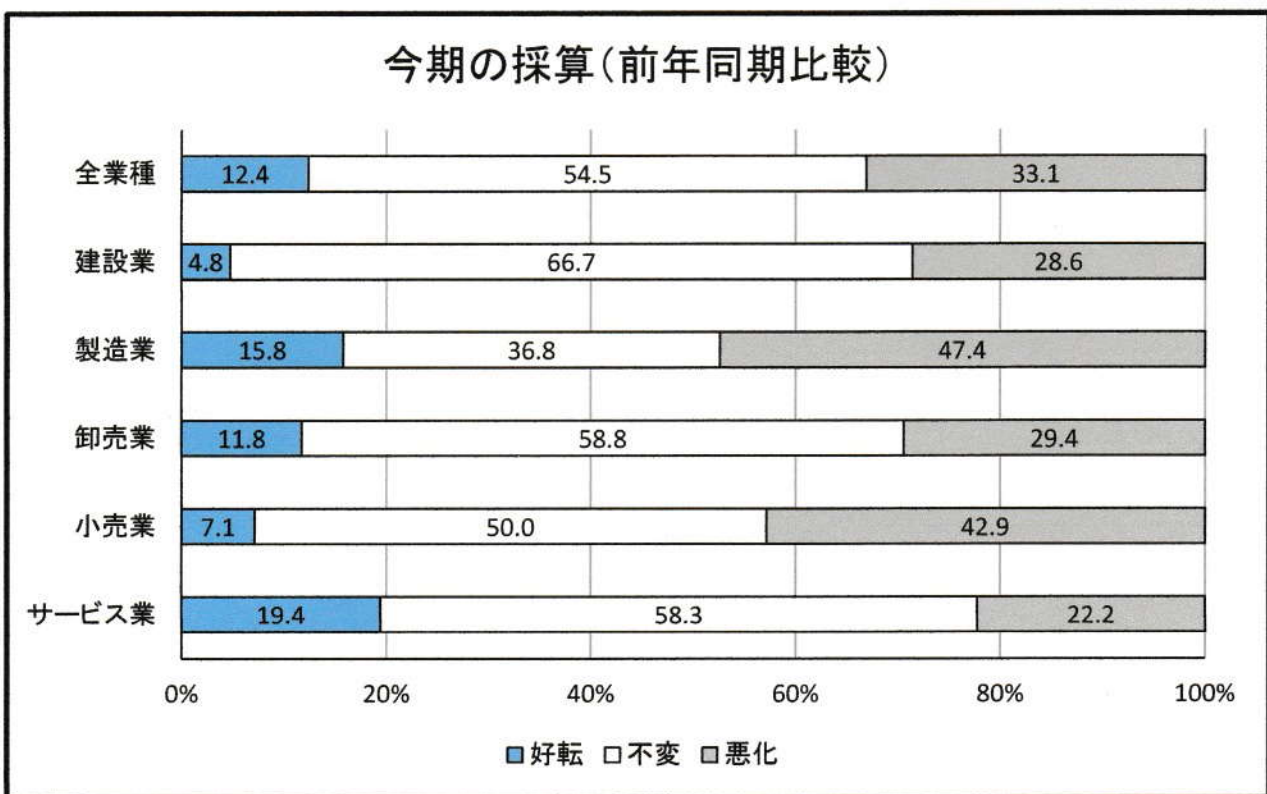
3-2. 完成工事高・生産高・売上高



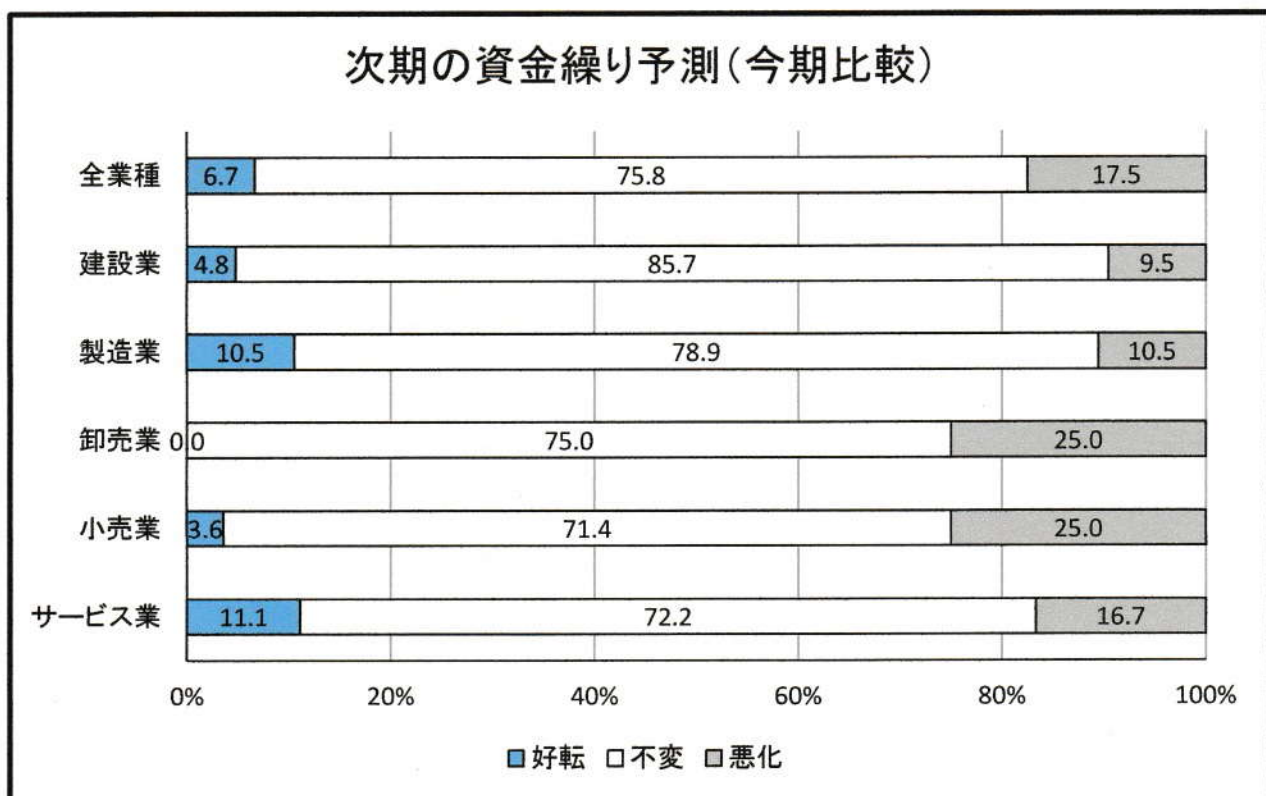
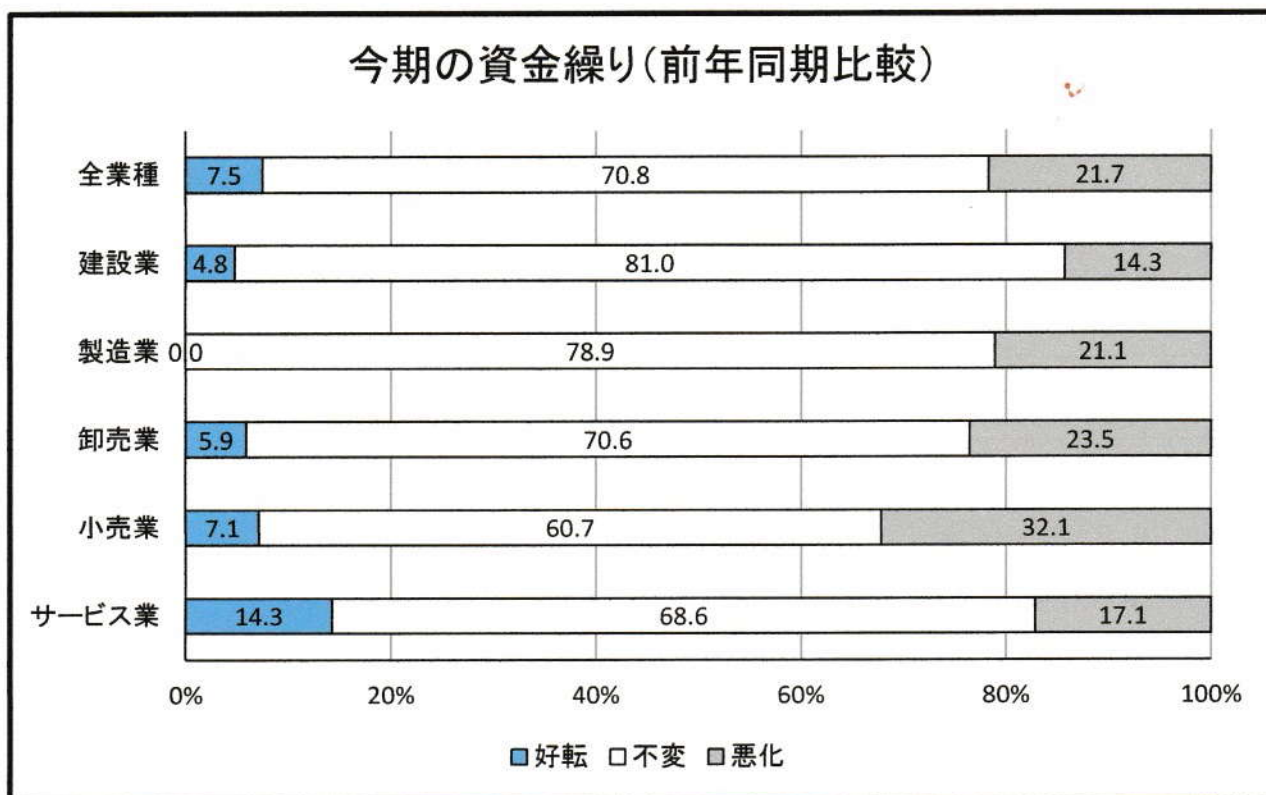
3-3. 在庫水準



3-4. 採算

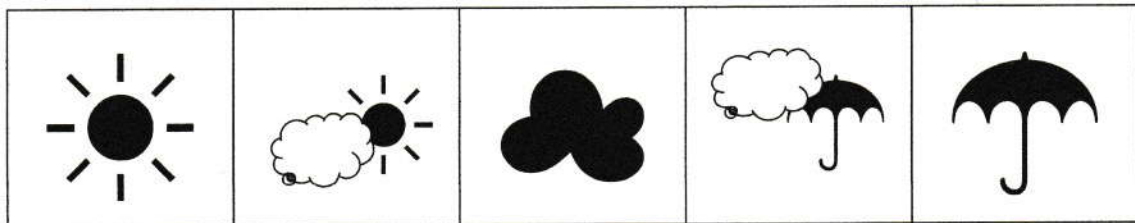


3-5. 資金繰り



第4章 景況天気図

4-1. 記号説明



とくに好調
(D.I. ≥ 50)

好 調
($50 > \text{D.I.} \geq 25$)

まあまあ
($25 > \text{D.I.} \geq 0$)

不 振
($0 > \text{D.I.} \geq \blacktriangle 25$)

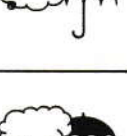
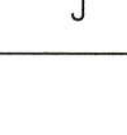
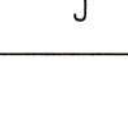
きわめて不振
($\blacktriangle 25 > \text{D.I.}$)

4-2. 全業種 D.I.値の状況

	前年同月比	3ヶ月見通し
業 況	 $\blacktriangle 17.4$	 $\blacktriangle 13.2$
売 上	 $\blacktriangle 27.3$	 $\blacktriangle 20.0$
採 算	 $\blacktriangle 20.7$	
資金繰り	 $\blacktriangle 14.2$	 $\blacktriangle 10.8$

4-3. 業種別 D.I.値の状況

	判断項目	前年同月比	3ヶ月見通し
建設業	業 況	 ▲ 14.3	 ▲ 4.8
	完成工事高	 ▲ 28.6	 ▲ 19.0
	採 算	 ▲ 23.8	
	資金繰り	 ▲ 9.5	 ▲ 4.8
製造業	業 況	 ▲ 21.1	 ▲ 5.3
	生産高	 ▲ 36.8	 ▲ 15.8
	採 算	 ▲ 31.6	
	資金繰り	 ▲ 21.1	 0.0
卸売業	業 況	 ▲ 35.3	 ▲ 35.3
	売 上	 ▲ 41.2	 ▲ 41.2
	採 算	 ▲ 17.6	
	資金繰り	 ▲ 17.6	 ▲ 25.0

	判断項目	前年同月比	3ヶ月見通し
小売業	業 況	 ▲ 28.6	 ▲ 14.3
	売 上	 ▲ 35.7	 ▲ 14.3
	採 算	 ▲ 35.7	
	資金繰り	 ▲ 2.8	 ▲ 21.4
サービス業	業 況	 0.0	 ▲ 11.1
	売 上	 ▲ 8.3	 ▲ 17.1
	採 算	 ▲ 2.8	
	資金繰り	 ▲ 2.9	 ▲ 5.6

第5章 産業別経営上の問題点

業 種	1位	2位	3位	4位	5位
建設業	人材不足	諸経費増	同業者間の競合 売上の不振		人件費増
製造業	諸経費増	人材不足	人件費増	売上の不振	得意先減少
卸売業	得意先減少 同業者間の競合		人材不足	諸経費増 売上の不振	
小売業	得意先減少	人材不足	売上の不振	同業者間の競合	人件費増
サービス業	人材不足	人件費増	諸経費増 得意先減少		売上の不振
合 計	人材不足	得意先減少	人件費増	同業者間の競合	諸経費増

第6章 産業別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。

設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2のとおりです。

表1 業種別件設備投資の動向

設備投資	建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業		合計	
した	6件	28.6	6件	31.6	0件	0.0	6件	21.4	8件	22.2	26件	21.5
しない	15件	71.4	13件	68.4	16件	94.1	21件	75.0	28件	77.8	93件	76.9
無回答	-	-	-	-	1件	5.9	1件	3.6	-	-	2件	1.7
合計	21件	100.0	19件	100.0	17件	100.0	28件	100.0	36件	100.0	121件	100.0

※右側の数字はパーセンテージを示している。

表2 業種別設備投資の内容

設備投資 内容	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計
土地	-	-	-	-	-	0件
店舗	1件	-	-	2件	2件	5件
販売設備	1件	-	-	-	1件	2件
車輛運搬具	2件	-	-	1件	1件	4件
付帯設備	-	1件	-	4件	2件	7件
OA機器	2件	-	-	-	1件	3件
福利厚生施設	1件	-	-	-	1件	2件
その他	1件	5件	-	-	1件	7件

※複数回答があるため、表6-1の合計件数と相違している。

※その他の記述内容(2件記述有り)

- ・事務所の携帯(建設業)
- ・工具備品、生産設備、工場設備、製造設備(製造業)
- ・コールドテーブル、電子レンジ[故障のため](サービス業)

第7章 業界の景気動向等その他のご意見

(1) 業界の問題点について

【建設業】

- ・工事の発注時期が夏から秋に集中しているので、春先からの発注で均一にしてほしい。
- ・作業員が大変不足しています。70代の方は普通で毎年来てくれる方で80代の方も出てきています。
- ・人材不足！
- ・大工さんの高齢化が進みつつある。

【製造業】

- ・①ホタテ原料不足、②サケ水揚げ不振による原料不足。
- ・新しいジャンルや形態についてチャレンジしていかななくてはならない状況があるが、それに対応するたのスキルや人材人員がなかなか調整つきにくい。
- ・人手不足、原料の値上がり。

【卸売業】

- ・価格競争が続いている事が、当社・協業含め売上の停滞に繋がっていると思われます。今のマーケットでは、価格に重きを置いているので変えることは難しいですが。
- ・天都山の流水館は観光の集客に役に立っているのか。何か対策が必要ではないか。

【小売業】

- ・入手不足（特に生鮮希望者がいない）。
- ・人材不足（20代～30代）。
- ・道東への入込客の減少。
- ・競争が激しい（大手販売店とか）。

【サービス業】

- ・インバウンドの集客にかげりが見えてきている。
- ・市の処分場が29年度より明治に移り、分別ルールも変わるが、徹底した分別を求められており、排出業者様の理解、協力してもらえるかが不安。
- ・人材確保に苦戦している。
- ・秋の旬まつりに連携した新たな街バルイベントの実施など閑散期対策を実施した。 網走マラソン、地域振興・観光振興からも業界にとどまらず、オール網走の取り組みを！
- ・JR問題を含め、道央からの交通アクセスが観光振興のこれからの課題。
- ・店舗数が増え、客即が分散している。
- ・①人材不足、②管内人口減少。
- ・湖畔2店舗の安価販売(ホテル)。
- ・景気が上向いても値上げはできません（値下げのまま）。
- ・台風等により現場が遅れ、以降の仕事に影響したため。
- ・一般的に鍼灸のイメージが「熱そう、痛そう、何だか分からないけれ怖い」と言ったところがあるため、全体として受診率が非常に低い。昔のままにイメージが強く残っていますが、業界全体でそのイメージを払拭していく努力が必要だと感じています。
- ・喫茶店（サービス業）の役割とは何か。一杯のコーヒーでホットなひと時を求める人や

仕事の合間にひと息入れる人など利用法はさまざま。これからの喫茶家経営はスターバックスの大型店やコンビニの安売りに対抗し、店主や店の個性を生かした店づくりがますます重要になってくるのではないかと。コミュニティーの拠点化やつり、山、陶芸などの愛好者らが気楽に集える技（ワザ）・クセ・ニオイ・味があるユニークな喫茶店を（飲食店）が生きのびていくと思うのだが・・・。

（２）２０１６年の夏に北海道を襲った台風の影響について、具体的な影響があった場合は、率直なご意見をお聞かせください。

【建設業】

- ・工事進捗の遅れ。
- ・災害復旧の工事が増加したが、忙しい時期と重なり、受注したいができない。
- ・農業土木工事の会社なので、８月の台風でほとんど８月中の工事ができず、現在大変忙しい。

【製造業】

- ・当社の本社は小樽にあり道東方面への製品配達方法が道東道のみとなり、これから冬に向けて閉鎖される頻度が増える恐れがある。
- ・網走湖のシラウオ漁が中止となりました。台風の影響でスジエビが不漁となりました。
- ・漁業被害により加工業からの発注が減少した。
- ・見積もりしていた仕事が仕事の資金から台風被害でキャンセルになった。（次期に延期になった。）

【卸売業】

- ・土木材料の品薄、土木業者の調達困難、現場工期の遅れ。
- ・９月に入りツアーキャンセルが多く昨年の売上からかなり減少した。特急オホーツク休業の影響もありか。
- ・入荷不足、野菜の高騰。
- ・旅行客のキャンセル。
- ・秋納品の時期が若干おそくなった。得意先に被害は無かった。（近くの人が被害を受けた）

【小売業】

- ・農産物の価格上昇、商品量の減少、物流の影響による入荷の遅れや価格の反映今後更に拡大も考えられる。
- ・十勝、日高方面の通行止めによるツアーCXLがあり客数減少。
- ・お客様のキャンセルが増大し、売上が低下。
- ・商店の到着の遅れがひどかった。
- ・野菜の価格高騰による原価率高。価格値上げはしておりません。

【サービス業】

- ・消防大会のキャンセル 100 名が痛手であった。その他のキャンセルも多く売上減の原因である。
- ・公官庁の通常の動きが止まり、売上受注が止まった。次期にスライドしての受注を期待。
- ・前年対比で△5.0%。消防大会の中止、JRの運休は大きな痛手となった。

- ・野菜などの価格上昇、シラウオなど旬魚の不漁。 消防大会などイベント中止による予約キャンセル・観光客のマイナスイメージ。
- ・H28 年度受注業務の一時停止に伴い、納期のひっ迫が生じている（残業の発生）。
- ・駐車場の看板が飛んだ。
- ・サインポールに水が入り電球がショート。
- ・台風によるキャンセルにより売上減少。
- ・砂利の坂道が雨水で掘れた。坂の下の道が 2 日間位増水で通行できなかった。一部建物が床上浸水した。倒木があった。
- ・キャンセル多数。
- ・レンタル機の返却の遅延、緊急災害対策で休日、夜間かかわらず対応しました。
- ・消防大会直前キャンセルで売上にひびきました。
- ・天候
- ・若干の予約キャンセルがありました。
- ・特に影響はありません。
- ・JR が不通のニュースは予約のキャンセルは少なかったが、旅行者に不安感を与え、以降の予約が少なくなった。
- ・雨が続いたため、客土（畑の土の入れ替えの仕事）誘導が 1 か月近く遅れ、売上が減少しました。人数を確保しているため、売上が減少し、他の仕事も入れられないため大変困りました（2 百万円近くの損害をうけた）。